

令和6年度 第58回 神奈川県中学校総合体育大会  
第76回神奈川県中学校バレーボール大会

## 審判上の注意

- 1 本大会は2024年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則および(公財)日本中体連バレーボール競技部取り扱いに従って行う。
- 2 プロトコール時に監督がリベロ指名とサインを行う。ラインアップシートは公式練習が設定されている場合は公式練習終了前に提出、公式練習が設定されない場合はチームキャプテンのトスの後、速やかに提出する。セット間および試合終了後にラインアップシートは返却しないので、セットごとに新しいシートを提出すること。
- 3 各セット開始時のゲームキャプテン挙手(スターティングメンバーにチームキャプテンが含まれていない場合を除く)、反則で吹笛した場合の該当選手の挙手は必要ない。
- 4 リベロはチームの他の選手と主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色はチームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。今までの試合に関係なく、リベロのユニフォームが対照的でないと判断された場合、リベロジャケットの着用を指示する場合がある。
- 5 リベロリプレイメント時に該当選手の挙手やサイドラインでの一時停止は必要ないが、該当の2人の選手は「すれ違うように」リプレイメントすることを心がける。
- 6 ボールデッド後は速やかにボールを拾いに行き、同時に次のサーバーはサービスゾーンへ向かうものとする。ボールデッド後、次のサービス許可の吹笛までは8秒が原則である。これを妨げるようなコート外への飛び出しや、控え選手やベンチスタッフとのハイタッチ等は遅延警告の対象となる。
- 7 試合中のワイピングはチームの責任である。「コート上の選手全員がタオルを持ち」コートが濡れた場合は「全員で速やかに」拭くのが原則である。タオルを持っている選手が少数、または拭いている選手が少数などで時間がかかっていると判断した場合、遅延警告の対象となる。タイムアウトやセット間を除いてチーム判断でモップを入れることはできず、モップを入れるか否かは審判の指示によるものとする。試合環境によっては1試合や1セットでタオルが濡れることが考えられるので、必ず予備のタオルをベンチに準備すること。
- 8 本大会は全試合、給水のためのタイムアウトを実施する。各セットで一方のチームが13点に達した時に、副審の吹笛で30秒間のタイムアウトを適用する。給水場所はアップゾーン内またはその付近とする。給水のためのタイムアウトの際、監督及びコーチはベンチに着席を必須とする。3セット目はBサイドの選手がコートチェンジし、最後の選手がAサイドベンチ側のサイドラインを過ぎた段階で、副審が30秒の計時を開始する。リベロリプレイメントやサブスティチューションの要求は、給水のためのタイムアウト終了後に受け付ける。
- 9 タイムアウトについて、タイムアウトは30秒間であるが、選手は30秒を待たずにコートに戻っても良い。ただし、タイムアウトの時間が短くなることはない。※コートに戻ることはできるが、30秒間はタイムアウトの時間なので、「リベロリプレイメント」、「タイムアウトや選手交代の要求」はできない。タイムアウトの吹笛後、上記の要求ができる。(許容回数内)
- 10 本大会の3日目より、監督が、試合中、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。ただし、ラインジャッジの視界を遮っていたり、ラインジャッジの判定に影響を与えるような位置にいたりする場合は、レフェリーからの指導の対象になる。
- 11 男女各1日目(7月28日・29日)の審判および生徒役員は次の通りとする。

	主 審	副 審	生 徒 役 員
第1試合	派遣審判員	派遣審判員	県央生徒役員
第2試合	派遣審判員	派遣審判員	県央生徒役員
第3試合		第1試合敗者校顧問	第1試合敗者チーム
第4試合		第2試合敗者校顧問	第2試合敗者チーム
第5試合		第3試合敗者校顧問	第3試合敗者チーム
第6試合		第4試合敗者校顧問	第4試合敗者チーム
第7試合	派遣審判員	派遣審判員	第5試合敗者チーム

※第7試合は試合進行状況により、県役員を含めた大人が担当する可能性がある。

ベンチもしくはウォームアップエリアで保管すること。

- ④ 団扇の大きさには規定を設けないが、極端に大きなものは使用しない。
  - ⑤ 団扇にチームのロゴ等が記載されていても構わないが、装飾としての使用は認めない。
- ※①～⑤は、チームスタッフ及びリザーブ選手にも適応する。

12

各ブロック・各都道府県大会等で、開催要項に「給水のためのタイムアウト」を採用している場合において「団扇使用」を認めることとする。

連絡先：神奈川県中学校体育連盟バレーボール専門部審判委員長 山口 剛人  
横浜市立東野中学校 (電話)045-302-1116

## (公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における 「熱中症対策としての団扇使用」の取り扱いについて

(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部

- 1 ベンチマナーの観点により、現在まで団扇の使用を禁止してきた経緯がある。しかし、現在熱中症対策が必要不可欠な課題である。そのため熱中症予防の観点から、(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部が主催する大会で「熱中症対策としての団扇使用」を採用する場合、次のように取り扱うこととする。
  - ① 使用は、セット間・タイムアウト・給水タイムアウトのみとする。
  - ② 使用場所はウォームアップエリアやベンチ周辺とする。
  - ③ 団扇の数には制限はないが、チームスタッフ及びリザーブ選手が保持することなく、ベンチもしくはウォームアップエリアで保管すること。
  - ④ 団扇の大きさには規定を設けないが、極端に大きなものは使用しない。
  - ⑤ 団扇にチームのロゴ等が記載されていても構わないが、装飾としての使用は認めない。※①～⑤は、チームスタッフ及びリザーブ選手にも適応する。

各ブロック・各都道府県大会等で、開催要項に「給水のためのタイムアウト」を採用している場合において「団扇使用」を認めることとする。